(1)

2

3

4

5

6

定 価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000円 3,500円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 FAX03(3207)3918

発 行 人 編集主筆 愛 澤 豊 重 竹 澤 知代志

(1)

2

3

4

5

6

7

8

9

(10)

•大阪•中部•奥羽•東中国

教師制度問題への取り

の議案19号「准允・按手礼 神戸栄光教会を会場に開催 兵庫教区定期総会は、五月 れた。これは、 按手礼問題報告」が上程さ 直ちに議案第4号「准允・ 二〇日(日)~二一日(月)、 開会礼拝、組織会の後、 昨年度総会

に関する件」可決後、 さらに、議案9号「教師制 り組む必要性を確認した。 立てる教会とは何か」とい 礼式の方法にとどまらず、 「教師とは何か」、「教師を

第6回/「合同」後38回 報告したものであった。 員会により議案無効とされ 総会開催やその後の経緯を た事、それに伴い臨時教区 また、狭義の准允・按手 教師制度問題の継続した学

八名の教師(准允:五名、 議案10号「准允・按手礼式 る事を決意した。その上で、 るための資料編纂を開始す 教師制度問題の討議に資す に関する件」が承認され、

であり、連帯によって福音

開始する件」が決議された。 認し、討議のための作業を 度問題への取り組みを再確

習と協議の場を作り出し、 信徒・教師が孤立する事は、 講演の時を持った。教会・ 方針から-」と題し、基調 うために一北海教区の宣教 郎氏(北海教区総会議長) 福音宣教の疲弊を招くこと により「福音宣教を共に担 総会 | 日目に、

按手礼:三名)

とって良い刺激を受けた。 けた。互助・連帯を火急の 宣教課題とする兵庫教区に しに関する件」は、教区内 議案13号「兵庫教区納付 (負担金) 算定基準見直

が立てられ 宣教活動が教区活動にとっ て必要であるとの示唆を受

て推進される事を願って決 伝道所の宣教が連帯によっ 互助が強化され、 総会に向け更なる検討作業

が孤立無援の活動においや 宣教の使命を果たす北海教 らぬよう、総合力としての た。また、一部の宣教課題 区形成の姿勢に感銘を受け

兵庫

議された。 不正流用問題発覚後、教区 区機構組織見直し検討に関 事項を明らかにした。次期 検討を重ね、見直し・検討 の管理・運営体制について リスチャン・センター会計 する件」では、兵庫教区ク 議案12号「兵庫教 ある。 流用被害額は、二〇一二年

始する件」では、「戦後」 までに完済される見込みで と言ってきた歴史認識を問 れ生きる教会として、共に らえなおし:歴史を生かさ ことばを紡ぎ出すことを開 議案15号『合同』のと

講 颌

を目指すことができるのか。教会総会(教会会議)とは、主の御旨を探り知り、そのことによってこそ、互いを理解し合い許

)合い、そして、協力するために、開かれるのだと考えるのだが。主の御導きを信じ、委ねるより他に不信解消の術はない

教区で議論になった。一方、教区内での宣教理解の対立が深刻な様子も覗える。亀裂は深まり行くのか、

再び、ひとつ目的地

だ、その課題は、マイナスの課題だ。教団総会での議事運営に対する不信、教区総会への教団議長挨拶への批判が、幾つかの

前回号で「各教区を横断する主題は見えて来ない」と書いたが、今号に至り、それは、はっきりと浮かび上がってきた。

相互不信は深まり行

基調講演をする西岡昌 -郎北海教区議長

議した。 同のとらえなおし」に資す い直し、私たちが見過ごし いく作業を開始する事を決 る。ことば、を紡ぎ出して てきた時間を問い直し、「合 教団問安使として、鈴木

無効とした常議員会決議に 幹事職務代行が来訪。山北 伸治教団書記と愛澤豊重総 かとの意見が交わされた。 聖礼典を巡って、教会理解 挨拶」については、正しい 宣久議長の「教区総会への 兵庫教区昨年度議案19号を の一方的押し付けではない 「総幹事報告」については、

が進められる。なお、不正 元副議長が来訪され、被災 教区として連帯の思いを述 等、質疑が集中した。 ついて触れられていない事 また、関東教区から村田

川上盾副議長が選出され 真人副議長代行に替わり、 た。 べられた。 副議長選挙が行われ、 (竹内款一報)

教区内の対立が深まる中で

大阪

宮路正彦教師、

区互助規定改定に関する

自然災害発生時の緊急

礼拝説教者の否決等、教区

吊置委員会における開会

岡村恒 (大阪)、舘山英夫 う子(箕面)、上地武(大正)、 豆真人(東梅田)、小林よ

の設置に関する件、

大阪教

号議案」に関する件は継続。 り議案は終結となった。「三

関する件、教師互助委員会 おける人権侵害防止対策に 結に関する件、大阪教区に ネットワーク設置計画の終

出され、採決の結果、一七

二名中一一七名の賛成によ

【教職】村山盛芳(浪花)、

教区常置委員選挙結果

は終結するとの議長提案が

【書記】佐藤成美(高槻)

る件、「日本基督教団大阪教 的な活動組織の設置に関す

する中で、対立する双方の 内の対立が深まる様相を呈

日丘)、佐藤直樹(大和榛

(茨木)、軽込昇 (茨木春 (大阪淡路)、田邊由紀夫

スト)、浅見覚(枚岡) 原)、市川忠彦 (大和キリ

真理契機を認め合い、異な

を招いて、「戦後日本人とし 題する講演会を教区主催で 督教大学の森本あんり教師 せて、午後一時より国際基 今年は総会開始時間を遅ら うとする動きが強まる中、 ペルにおいて開催された。 けて大阪女学院ヘールチャ て憲法の歴史を生きる」と 憲法9条を「改悪」 しよ (金) にか 長より総会成立が宣言され 出席により、午後三時に議 第10回常置委員会におい 愛)〕。 また、 開会礼拝の説 阿部啓 (南紀の台)、堀江 られ、その中で准允・按手 教者については、総会前の 按手:中井大介(千里聖 知己(堺)、南豊(天満)、 礼が執り行われた。〔准允: 等の承認後、開会礼拝が守 た。組織会、仮議事日程案

向井希夫議長の司式で按手礼式執行

大阪教区総会は、五月三 | 総数二九二名中二二〇名の | て、総会準備委員会が提案 | 拝説教が語られた。第二日 みを持ってこの場に立って きた委員会の長として、痛 決されるという事態を受け 出され、採決の後これが否 られ、「三号議案に関わって 嗣教師が説教者として立て 教区問題小委員会の田中清 した説教者に対する疑義が わる働きを続けてきた大阪 案である「三号議案」に関 て、大阪教区の中心的な議 澤一雄教師、中野節子教師、 目には、

いる」との言葉から開会礼

米田勝教師、 の精神を継承する件、 拝が守られた。 師を覚えて、召天者記念礼 大阪教区「三号議案」 田中テル子教

年度教区予算案に関する 承認に関する件、2007 る。2006年度教区決算 た主な議案は次の通りであ 今総会において承認され

区剰余金積立等管理規則」 らせる件については、議論 において行うこととし議案 で継続実施中の聖餐の学び 申が理解されるよう再度知 所に、信仰職制委員会の答 大阪教区が諸教会・諸伝道 の制定に関する件。また、

内容議論は大阪教区 議長】伊勢富士夫(天満) 総会であった。 る意見にも耳を傾け対話を 向井希夫(大阪聖和)、【副 精神がますます大切となる であろうことを思わされる するという「三号議案」の 二役選挙結果

谷誠(いずみ)、鎌田英子

【信徒】池田和弘(浪花)、東

(玉出)、山田淳子 (大阪

議長

楠原道温(茨木)、糸本資

(石津)、丸山健樹(和歌山)

聖和)、江本義一(茨木東)、

8

山北宣久教団問安使を迎えての討論

員一一六名中一〇四名が出 開催された。開会時、正議 羽キリスト教センターにて が五月二二日、二三日、

第62回奥羽教区定期総会

奥

第 4628 号

の陪餐について」の答申を

関連施設、羽咋教会と関連

めぐって、「式文通りであれ

中部教区より教団信仰職制

釜土達雄(七尾)各牧師か

輪島教会、七尾教会と

特に常置委員会報告では

時輪島)、

内城恵 (羽咋)

の挨拶に続き、勇文人(当

まず小宮山剛委員長から

の報告と議案であった。

能登半島地震関連

委員会への諮問「未受洗者

教

の

「御言により生きて働き

ば正しい聖礼典か」という

会の被災状況、復興に向け

富来伝道所、

質問があり、楠本史郎議長

給う神による信仰告白を基

一登において宣教の重要な担

関連施設である幼稚園は能 ての報告がなされた。教会

が、

開会礼拝では御言を通し

央教会を会場として開催さ

月二二~二三日、名古屋中

第57回中部教区総会は五

(1)

2

3

(4)

5

6

(7)

(8)

9

(10)

能登半島地震 |関連議案に議論 集

中

中部

議長に高橋潤氏、三役一新

島地震被災教会再建委員 る」との応答、また鈴木伸 精神が式文に表現されてい とする教憲教規、その基本 会」設置の決定報告を受け、 いて再確認がなされた。 能登半島地震関連の報告と 治教団問安使挨拶も含め 「正しい聖礼典」理解につ これらの報告を受けて次の は、不可能な状態にある。 見込めないという実情のた るが公的補助は今のところ ような意見交換がなされ 復興は被災教会だけで

認し、聖餐式が執行された。

出席正議員は二一二名中

議事は主に常置委員会報

議案について審議がなされ

教区三役選挙、

常置委

が形成されていることを確 て信仰告白の岩の上に教会

正確な情報を出すために慎 の反省を踏まえて、教区が の報告が遅れた」ことに対 重であったため、 まず「過去の災害対応へ 諸教会へ

軽微という第一報から一月 と電話連絡を控えるよう要 度な負担を防ぐため、訪問 応策が違うので、マニュア 特徴と地域状況によって対 し、「余震が続く等の地震の を担うべきだった」、「被害 請した教区通達を支持する ル化は難しい」、「現地の過 代わって広報すること 士の診断で、 教区から派遣を受けた建築 のは、教会関係で倒壊した い建物の危険性も指摘され 被害が拡大し、さらに関東 微」と判断したからである。 んどなかったため、「被害軽 建物がなく、 しかし度重なる余震で建物 当初教区が慎重であった けが人もほと 外見上問題な く呼びかけての募金活動、

い手であり、学校法人であ 以上続いた余震のため生じ が交された。 な献金が必要となるという よって明らかになり、膨大 た不可視的被害が専門家に 結果になった」などの意見

れていた。 伝道の連帯のより良き進展 を願うことへと重点が置か 目的ではなく、 見は教区執行部への批判が しかしながら、厳しい意 祈りによる

議案が追加提案された。 置委員会より以下の二つの 議案6 | 能登半島地震被 以上の議論を踏まえて常

日本基督教団内募金活動、 施設の再建のために中部教 災教会・伝道所および関連 ①中部教区内募金活動、(2) 区が主体的に取り組む件」

3その他の団体・個人に広 尚 標として献金を募る件」。

目標額は追加され得る

めの委員会を作るよう求め 区諸教会・伝道所で200 7年度に3600万円を目 災教会・伝道所および関連 ための重要な活動 (4)日本基督教団に募金のた 施設の再建のために中部教

議案7「能登半島地震被 5その他、復興支援の 終目標額を速やかに定め、 ことを認識しつつ、今後最

された。 を確認し、 活動の一本化を目指すこと 教団が会計監査を担う募金

て「能登の教会再建を!!神 早速これらの実現に向け 賛成多数で可決

の栄光のために」という文 教師全員の按手により主の 式が執行され、臨席した正 区議長の司式により按手礼 また総会内で高橋潤新教

うという呼びかけがあっ て一日百円ずつ捧げている り配布され、献金箱に張っ 字入りステッカーが有志と 委託に応えるべく新たな正 三役選挙結果

教師二名が祝福の内に立て 【教職】加藤幹夫(阿漕)、小 【書記】横山良樹(半田) 【議長】高橋潤(中京) 【副議長】 井ノ川勝 (山田) 教区常置委員選挙結果

人 (若草)、渡部和使 (名古 宮山剛(富山二番町)、勇文 屋北)、須藤茂明(華陽)、 本弘禮子 (津)、大杉弘 (若 中央)、中村友之(各務原)、 町田久子(幸町) 【信徒】須田静代(名古屋 阿部美男(名古屋北)



左から井ノ川勝副議長、高橋潤議長、横山良樹書記

兼務による宣教協力が現実的課題 邑原議長四選、副議長•書記再選

奥羽

団の現状を報告した。また

が必要である。

場がなお重んじられること

等を全体の計画として挙げ 教会の宣教課題とすること

て行われた按手礼の際、

(松本のぞみ報)

な機会だけに、このような

長報告に呼応する仕方で教 北宣久教団議長は、教区議

われた。討論のすべてを記

す紙幅はないが、福音主義

教区宣教計画が審議され きよう」のもと第五年目の

た。常置委員会では修正要

受け、教区内全教会、伝道

所の献金への参加・増額に

南)、【書記】岡村宣(鷹巣)

【副議長】松村重雄(弘前

【議長】邑原宗男(江刺)、

献金八千万円増額の承認を

教団総会における謝恩日

明らかにされた。

三役選挙結果

変丁寧な質疑・討論が行な

る教区主題「さあ、共に生

通り可決された。

主要な集会計画を含め原案 ている。各常設委員会計画、

との是非がはじめてのケー

スとして議論されたことが

されたが、按手に加わるこ 教区正教師から傍聴願が出

二〇一二年まで十年に亘

議場との一問一答による大

連合の教師試験に関して、

を行なってきたことを報告 こと」としながら「教区全 っており、教職人事を「各 き」だが、「この状況を踏 めていきたい」とした。ま 域の宣教を視野に入れて進 教会の自主的な決断による まえた上で教区の宣教を共 た、各教会への綿密な問安 していることは憂慮すべ に担ってゆくことに励み」、 した。さらに「教勢が減少 に心を配った」とした。教 定方式導入の一年目を混乱 区財政は、新しい負担金算 長のいわゆる十二項目所見 述べた。教団関係について、 ていることに感謝する」と 増額となり「日本基督教団 なく終え、二年減額の続い 35教団総会における教団議 全体の祈りが益々集められ た教区活動連帯金が今年度 について「承服できるもの

ではない」として「四〇年 答・討論だった。問安使山 使挨拶とそれを巡る質疑応 抗議した。 総会期常議員会において議 受験者の教師登録が前教団 る」とした。また、福音主 歴史を否定することにな にわたる奥羽教区の伝道の 議長報告と同等の時間を充 事日程に上ったことに強く 義教会連合の行なった試験 てて扱われたのが教団問安 総会全日程の中で、教区

ず、

議長職責として常議員

会の決定を受けて取扱っ

重点目標をまず第一に掲 会の形成に努める」という の伝道が力強くなされる教 て原案が提案された。「福音 望が出され、協議修正を経

げ、「教区の『一つなる教会』

行の常置委員会への委任を

按手及び准允の議決、執

て公私は全く混同しておら

た。目標として百五十万円 取り組むことが可決され

の増額を定めた。

【教職】雲然俊美(秋田桜)、

教区常置委員選挙結果

のであるが、教団議長とし

本連合に議長自身関わるも

緊急救援募金のお願い

主の御名を讃美いたします

さて、3月25日(日)午前中に発生した「能登半 によって、輪島教会、羽咋教会、富来伝道 七尾教会、魚津教会に顕著な被害が出ています。 余震が続き、いまだに亀裂が拡がり、二次災害の心 配もあるという状況です。

これらの諸教会は、地域の方々と共に復興に取り 組んでおられますが、礼拝堂・牧師館・付属施設な 緊急の応急処置が必要であり、さらに、専門家 の診断を受けて本格的な建て替えや修復に取り組ま なければならない状況です

中部教区より全国募金の依頼がありましたの 下記のように「能登半島緊急救援募金」を行います。 祈り、ご支援をお願い申し上げます。

2007年4月13日

日本基督教団社会委員会委員長 張田

◎目 標 額 1,000 万円 2008年3月末まで ◎募金期間

◎送 金 先 加入者名 日本基督教団社会委員会 ◎郵便振替 00150 - 2 - 593699

*社会委員会独自の口座です。お間違えのないよう にお願いします(通信欄に「能登半島地震緊急募 金」とお書き下さい)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31 日本基督教団社会委員会

6

5

2

3

(4)

協力が現実的な課題」とな 師の「兼務体制による宣教 動があった中で主任担任教

「後継者の育成ということ

宗男議長は、多くの教師異

教区総会議長報告で邑原

立てられた。

なわれ新しく一名の教師が

会議冒頭に准允式が行



状を直接に聞き、また教区

改正に対する平和の希求 の充実に努めること、憲法 の伝統」を継承し宣教協力

方法を巡っての議論があっ

特に昨年、臨時総会に

ってきたが、なお執行主体、 ここ数年に亘り総会毎に諮

松原)、【信徒】鈴木務(秋

子(木造)、願念望(青森 山口義人 (男鹿)、宮島星

田高陽)、松尾亨 (青森松

浅沼千春(秋田桜)

(渡邊義彦報)

の現状を直接に訴える貴重

各教会にとって、

問安使との討論は教区の











2007年6月9日

の四六教会・伝道所は広大な北海

教区

会・伝道所、約半数の会員が集中

北海教区の教会・伝道所は全部

そのうち、十八教

北 海

西岡昌一郎

福音宣教を共 に担うために

する札幌地区を別とすれば、残り

(3)

ることすらある。仮にある町の教

まで百キロ近く離れているのは珍 道各地に散在している。 隣の教会

しくないし、それ以上隔たってい

会がなくなったら、数百キロにわ

たって 「空白域」 が生じることに

小規模だからと言って、

経験から学び取ってきたことだ。

北海教区総会議長

2

3

4

5

(2)

3

(4)

(5)

議長

後にはB5 現を「一方的な総括の仕方 で大変乱暴きわまりない」 の「荒野の4年」という表 教会の課題、信徒の課題としていくため

献金」と「伝道を考える」 た「教区の集い」、目標に 教会一八五名の参加があっ は届かなかった「教会強化 第35総会期第一回靖国·

四四

澤信(真和志教会)、須賀誠 子 (委員長•蒲原教会)、芳

選出された。

の課題について確認した。 り、この委員会が担う五つ ついて委員長より説明があ

仰に基づいて教会の問題と

日本人気質、この問題を信 難さ、天皇制の染みついた 題意識を維持することの困

その後葉山教会を牧会し、 業後、伊豆長岡教会に赴任。

して語ることができていな

い現状等が指摘された。

今後委員会で、「教会と国

新名サノ氏(隠退教師)

た。遺族は妻の照子さん。

1. 信仰告白共同体として

二(東京愛隣教会)、沼田和

今期の委員には、西之園路

選任された。小委員会書記

には互選により芳澤委員が

団執行部を批判し、東中国 して」では、強い調子で教 教区は「(沖縄教区との) ら働きを続けています」と 関係回復を視野に入れなが また、別項目で教団総会 間切れ廃案になったことに ついても、議事運営への不

に言及し、教団議長挨拶中 | これに関連して、「体力の落 | 現況、課題を丁寧に語った。 団総会の経緯を説明し、ま も、事柄の背景を述べた。 れたが、小林問安使は、教 満・不信が述べられた。 た教団議長挨拶について 副議長による問安使挨拶で この問題は、小林眞教団

た小さな教会を軽視する言 なかったとしても、汗水流 とし、「たとえ大きな成果は して伝道のために働いて来 更に、39号議案以下が時 場と、「差別問題等の宣教課 の存在理由」との立場とに 題に取り組むことこそ教会

別れ、

いろいろな議事の中

徒による教会間の伝道協力

教職間の互助ではなく、信

であることを強調した。

氏が選出された。

山信愛)、書記には指方信平 副議長には宮川経宣氏(岡

常置委員会提案の「国に

祈りの運動」であるとし、

宮崎達雄氏 (倉敷教会) が、

たい」と候補の弁を語った

「宇野議長の方針を踏襲し

強化と宣教力強化のための

で繰り返し議論された。

東中国

複数の議員から指摘さ 師 (米子教会)を講師に 二日目午前、八束潤一牧

まえて、互助制度の歴史、 は、四国教区での体験を踏 手でやりなさい』。八束氏 会が持たれたことは特筆す べき。副題は、『あなた方の 「教区互助を考える」講演

干の文言を修正の上、アピ

ール扱いとなった。 ここで

牧野卓哉(倉吉)、難波幸矢

明石春夫氏(隠退教師)

【信徒】土井しのぶ(高梁)

を通過したことを受け、

若

月十四日既に法案が参議院 の廃案を求める件」は、 改憲手続き法(国民投票法)

潤一 (米子)、川崎善三 (米

卒業。七二年から花小金井

教会の牧師を務めた。遺族

は妻の利江さん。

五

宇野稔(岡山)、八束

【教職】ト部泰之(倉敷水

教区常置委員選挙結果

牧師)三月二二日、逝去。

六七歳。島根県に生まれる。

九七〇年日本聖書神学校

こそ教会の使命」とする立 問題に意を注ぐべき、伝道 ちた現実では、教会固有の

(6)

特に、互助は単に持てる者

という議論があった。

三役の選挙では、

議長に

消息

の持たざる者への援助では

なく、「第一義的には…教会

(8)

9

(10)

横山幸夫氏(花小金井教会 杉村和子、 伊丹美貴、 中村吉基、 筒井昌司

飯田英章、 安藤博子 (二〇〇六・十二・十受按) 教師異動 丸山和則 西山崇文 辞(主)末留英夫

麻生 名古屋中央辞(主)西村 清 天草平安 辞(主)南條道雄 浪江 梅花女子大学 福島新町 就(主)森田喜之 辞(担)瀧山結実 辞(主)児玉義也 辞(担)児玉慈子 就(担)森田香代

辞(教)石川富士夫

り、教会固有の課題は何か

(教団新報編集部報)

教会と平和の問題を巡

関西学院大学 辞(教)辻 就(主)溝口賢次 辞(主)大田健悟 辞(主)島 典英 就(主)吉岡喜人 就(担)島 典英

天皇制問題が全教会の課題

協議の中で、なぜ靖国・

となっていないのかについ

三月二三日、逝去。九二

東京都に生まれる。

多忙な日常において問

九八四年日本聖書神学校卒 九二年から九五年まで半原 長崎平和記念 志布志 山梨 南三鷹 坂城栄光 辞(主)赤松敬明 就(主)横山 潤

教会の牧師を務め隠退し

就(主)森島

就(代)棟居 辞(主)高橋良隆

大阪昭和 大台めぐみ辞(主)内海恵子 広島流川 堺清水橋 辞(担)森田香代 就(主)田中寛也 辞(主)津田一夫 辞(主)福万信広 辞(担)老田 信 就(代)丹羽利夫

三宅島 西新井 柴宿 就(代)木ノ脇悦郎 就(兼主)三河 辞(担)福万ゆり香 辞(代)河合裕志 辞(主)河合裕志 辞(主)高橋 潔

歳。中国に生まれる。一九

一月二六日、逝去。八四

期総会が開催された。明治 堂を会場に、五月二一~二 二日、第56回東中国教区定 大正のロマン薫る「美観 白壁の土蔵を連想させ 倉敷教会の

瀟洒な礼拝 「互いに顔の見える関係」構築を | を振り返り、特に「教区交 報告で、「教区この一年」 地区」もほど近い。 六八名が出席した。 宇野稔教区議長は、 開会時で正議員九七名中 三役一新、議長に宮﨑達雄氏 徒が参加することで成果が 会相互、信徒相互の顔の見 高められる」と提唱した。 った「礼拝交流」を、「信 この三年間は教職のみであ 換講壇」の実施を上げ、「教 | での教区としての課題に関 える関係」づくりを強調し、 この日の夕食時には、新

副議長 Ę 新された三役、指方信平氏、宮﨑達雄氏、宮川経宣氏 が述べられるなど、四八教 信が発行されたことに感謝 版で隔週に、各教会への通 野議長の六年間、当初二年 係」構築の努力が偲ばれた。 会伝道所の「顔の見える関 は毎週葉書で、 持たれたが、そこでも、宇 任教職を迎えての交流会が 議長報告ではまた、三三

書記 方、「日本基督教団の中 月十六日(月)午後二時~ 館)において開催された。 十七日(火)午前十一時、 天皇制問題小委員会が、 教団会議室(キリスト教会

順

(石橋教会) の五名が

員会活動、

引き継ぎ事項に

与する働きを目指す。 の日本基督教団の形成に寄

団成立時から今日までの

1の大前提のもとに教

「教会と国家」

の関係をど

のように理解してきたかを

国立国会図書館が、二〇〇

七年三月にこれまで非公開

げていく予定である。また、 等についての主題を取りあ 家」、「沖縄から見た天皇制 也(宇和島中町教会)、横山

出に続き、これまでの小委

礼拝、自己紹介、書記選

教

そこは外すことも、 きない宣教の拠点として大切にさ 退するわけにはいかない。むしろ、 欠くこともで 長い伝道は続かない

立場の違いを言い合えば、北海道 などできなくなるからだ。これは における福音宣教を共に担うこと れなくてはならない。 北海教区では、そういう状況の を尊重してきた。 し、違いと多様さ うに連帯を大切に することのないよ 中で、相互に孤立 宣教理解や神学的 の教区とは違い、時間をかけて出 海教区の活動は、 能なのは札幌圏の一部に限る。 る。 かけなくてはならないし、数千円、 さえよければ構わないという言い て連帯する。 出し惜しみをしてい あるいは万単位の交通費をかけ 委員会一つ開くにしても、都市部 訳を許さない気風がある。 数百円程度の交通費で移動可 連帯を重視する。自分の教会 時間と金をかけ

孤立していては、北海道では息の したがって北海教区の諸活動

北海道特別開拓伝道(北拓伝)の ては、 教区活動にならないからだ。



くために委員会として協議 課題、信徒の課題としてい 国・天皇制問題」を教会の 3. 1・2を踏まえて「靖 検証する。

> 行したが、この資料につい 靖国神社問題資料集』を刊 点の資料を収録した『新編 だった資料を含め、八〇八

科卒業後、野方町教会に赴

四八年日本女子神学校研究

ても専門家から話を伺い、

各個教会に発信する。 課題と検証の成果を、 しながら担う。

> 委員会通信」に掲載し、 その講演要旨を「教団社会

個教会に発信したいと考え

め九二年隠退した。

八九年に稲城教会牧師を務

境、武蔵野井口(伝・現境 任。その後本郷中央、武蔵

南)、飯能各教会を牧会し、

とについては積極的に協力 員会の働きで協力できるこ NCC靖国神社問題委

三百(木)~十四日

次回の委員会は、九月-

に開催される。

委員会が担うべき課題を話し合う

委員会を経て教団に提言: 4. 当委員会の担っている 社会

6

(7)

8

9

正教師登録

事務局

就(主)林 牧人 辞(主)林 牧人 就(主)河合裕志 辞(主)齋藤忠雄

阿佐ヶ谷

^{리교 꽃과} 빛, - **새 희망 큰 여**수

ヨス市役所前で

高橋潤宣教委員長(左)、愛澤豊重総幹事職務代行(右)と った洛雲海(ナグネ)氏(セム

(1)

2

3

4

5

6

7

教

た中での開催であった。

霊

(1)

2

3

4

5

6

7

8

9

(10)

感商法資金が大 地開発に

日韓統

一協会問題セミナ

開催となる。 月のソウルに引き続いて二回目の セミナー」 が開催された。 昨年 にある麗水光林長老教会を会場に 「日・韓教会連合異端似而非対策 日本側からは「統一協会問題キ 四月十七~二〇日、韓半島南端 と島々に囲まれ、鏡のような静か 松島のような深いリアス式海岸

員ら関係者約百二〇名の参加であ 表、弁護士、被害者家族の会、マ った。ちょうど太田洪量元統一協 執事、麗水市長、市議会議長、議 大韓イエス教長老会異端似而非委 スコミ関係者ら二三名、韓国側は 射事件のニュースが流れ騒然とし 会会長らの南米パラグアイでの誘 ジニア工科大の韓国人学生銃乱 三二名の犠牲者を出したヴァ 麗水地区諸教会の牧師、長老 濃い講演がなされた。前回のセミ 会の現状」、渡辺博・李春熙両弁 か?」、元信者でもある竹迫之白河 透-地域開発か地上天国の建設 料となっている。 り上げられ、統一協会への牽制材 護士の「裁判所を通じた被害救済 教会牧師の「日本における統一協 ナー同様講演は全文翻訳配布さ について」といういずれも内容の 大教授の「統一協会の麗水への浸 その資料は韓国マスコミに採

韓国側からの訴えを受けての現地 開催であった。 クリスチャン人口の多い町である 統一協会が絡み始めているという 法等の巨額で違法な資金を背景に が、二〇一二年に海洋博を開催予 定している。 開発に際して霊感商 な湾を持つ麗水市は韓国でも最も

聖公会、日本福音ルーテル教会、

リスト教連絡会」を構成する日本

基督教団、カトリック教会、日本

日本バプテスト連盟の五教派の代

十八日は卓志一釜山長老派神学 国側の注目を集めていた。 旧の宣教委員長が参加した事は韓 を模したような教祖を称えるオブ ルの研修所が建設中で、その屋上 また法を曲げて景観を壊す高層ビ ていたのが印象的であった。今回 ていく」と案内の中で議員が訴え をもたらさない。ゴミだけを残し ジェを設けようと計画までされて にまるで北朝鮮の「主体思想塔. いた(展望台案に撤回変更となっ 「統一協会は何も現地に利益

ぶ離れているものの統一協会は一 状況にある。 海洋博会場からだい りつつあるがなお予断を許さなご の成果もあり、統一協会関連企業 が開催団体から撤退、世界貿易セ 自万坪という広大な土地を購入、 この一年間の市挙げての反対運動 ンターを中心とした開催へと変わ したバスと船により現地視察 十九日は麗水市議会のチャー

> 区、二月に九州教区福岡地 区、三月に東京教区東支区

> > と、多いときで四〇人近くが集

思った。もう

一つは、英語を勉

なることも、現実的にはなかな

感じ、そうした人に応えたいと

が、その実現にはまだ年月がか

外国語礼拝もという願いからだ

かりそうだし、外国人で一杯に

しているだろうと

柏教会の国際礼拝(英

会議室において開催され 信徒への手紙」を通して「他 教部幹事から「フィリピの 杉弘、書記に滝川英子の各 に多田信一、実務委員に大 か四月十八日(水)午前十 へのことにも注意を」と題 た説教をいただいた。 時から午後三時まで教団 今期の組織として委員長 開会礼拝では野村和正宣 今期第一回の推進委員会

ことが報告された。

続いて、二〇〇七年度に

やって来た夫婦など外国人は少

だった。

教会に導ければと願った」から 強したいという若ものを誘って

国からの留学生、アフリカから か多い訳でもないので、今は中 まるが、周辺地域に特に外国人

数で大半は日本人である。

従っ

得意の英語を活かして、最初

誘うという願いは叶った。 菅さんの第二の願い、若ものを か厳しいものがある。だが、小

こ説教には通訳がつく。

で推進座談会が開催された

推進座談会開催等のほか、 おける計画額、会議日程

教団教師退職年金の現状と

年度決算報告がなされ承認 度推進状況報告、二〇〇六 年度事業報告、二〇〇六年 委員を選出した。 宗事務局から、 二〇〇六 二〇〇六年度は全国八五 諸報告として滝川書記、 催されることが決まった。 委員会は六月二六日から二 この運動が始まって三〇年 七日まで、教団会議室で開 を迎えるに当たり、何か意

また、協議の中で、来年

教会が生活の中心にあるのを知

っていることの喜びを感じた。

を掲載している。

教会が国際礼拝と名付けてい

わせもあるなど、英語礼拝は認 のホテルから英語礼拝の問い合 会のホームページに英語の説教

二〇年近い歴史を刻んで、近隣

びを感ずる」と小菅さんはいう。

ある宣教師が交代で担当し、教

って、日本に来ている外国人は

るのは、英語

だけでなく、他の

ՈւՈւս(IIIII:ՈՒՈՍՆո(IIIIIIII)

て協議した。

二〇〇七年度全教区推進

の米国留学時代に、教会に繋が

「ハーグ (オランダ)、 その後

けての今後の展望等につい

にのが小菅さんだった。 か、開始時から中心になって来

えている。説教は教団に関係の

ィネーターとして英語礼拝を支

支える運動」三〇周年にむ

の今後の活動、「隠退教師を

隠退教師を支える運動」

たのは一九九〇年。その四年前

柏教会で英語礼拝が開始され

からバイブルクラスを始めた

後継者が育って今では、コーデ の月一回に落ち着いた。通訳も 礼拝をもっていたが、その後今 は通訳も小菅さんがして、毎週

のが参加してくれている。そう

いう人たちが朝の礼拝に導か

受洗に至るとき、本当に喜

敷居は高いがと感じている若も

会の会員にまじって、教会の 「英語に関心のある教会員、他

スマス祝金、教師退職年金 協力金に三、九六〇万円、謝 各五〇万円を支出した。 教師とご遺族に一人七万 制度発足以前に隠退された 〇〇円の献金があり、年金 〇九名に一人二万円のクリ べての隠退教師とご遺族九 恩金原資に二〇〇万円、す 八教会から七、四四八万七 し月に京都教区両丹地区、 1、にじのいえと信愛荘に りつつ、委員一同更なる努 有意義なものとなるよう祈 様のご理解ご協力の賜物で 識したものを構築したいと あり、この運動がますます 教会が増え、大きく育って 推進されて以来、年々参加 の提案があった。 力を重ねていきたい。 する全国の教会伝道所の皆 いることは、この運動に対 の信徒運動として全国的に 教団総会の決議を経て教団 九七八年に開催された

「隠退教師を支える運動」(百円献金) 第35総会期第1回推進委員会報告



教団会議室テラスにて

時から、 覚礼拝) が始まる。 三〇人てい 月に一回、第二主日の午後日

て良いかという内容である。 をしていた受刑者が出所する。教 で、当教会に出席することを勧め 師である。この秋に、今まで教誨 た。同じく教誨師を担っている牧 会に出席したいと言っているの 刑務所にしても少年院にして 知人の牧師から電話をいただい

な課題になる。不安を抱えながら も自分の家に帰らなくても、他の 帰っていくのである。刑務所の出 も、出所する人達は帰住先が大き 所者は成人者であるので、必ずし 町で働いて生活することが出来 しかし、少年達は帰住先につ り、帰ってきた少年を以前のまま 達の一番の悩みである。少年院に 族・痴漢・万引き・暴力団等であ 分ではない、 で理解するであろう。今は昔の自 入る前の少年の姿は、放火・暴走 と思っているのであ

いては不安を持ち続けている。少 少年たちは親の保護下にあり、自 も話題になるのが帰住先である。 年院で少年と面接するとき、いつ

分の家に帰らざるを得ない。少年 先 考 ろん受託した。帰住先は異なる町 を言う少年もいる。

帰

自分を知らない群れのほうが良い ない。その町にも教会はあるが、 であるが、それほど遠い距離では

教団総会書記

鈴木伸治)

英語礼拝を支える

小菅あけみさん



東京生まれ。欧米留学からの 帰国後、柏教会員。柏市教育委 柏市国際交流協会副会長。 員。

るが。以前、付き合っていた友達 くれると思います、と健気なこと 生活していれば、きっと理解して もいる。悪い誘いをどう断るか。 人々に何を言われるか。まじめに 電話の教誨師の知人には、もち

を示したい。 と考えるからである。 教会は人々の帰住先であること

(10)

8

9